



幸福実現NEWS

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS
[党員限定版] 第40号

先の衆院選では多大なるご尽力を賜り
心より感謝申し上げます。

参院選での議席獲得に向け、全力を尽くしてまいります。



12月16日に投票が行われた衆議院議員総選挙は、自民党の大勝および民主党の壊滅的敗北、第三極の伸び悩みという結果に終わりました。

保守回帰の 流れをつくった 幸福実現党

近隣諸国による軍事的脅威の高まりや長引く景気低迷、さらに脱原発など、まさに「日本、危うし！」と言わねば状況に直面しつつあるなか、幸福実現党は「防衛力、経済力、原子力、3つの力で日本復活」を掲げ、戦ってまいりました。しかしながら、当選者を出すには至りませんでした。冬の寒いさなか、厚いご支援をいただいたにもかかわらず、党員の皆さまの思いを形として表すことができず、心よりお詫び申し上げます。

残念な結果に終わったものの、国民の選択が保守回帰にあったことは明らかです。安倍晋三総裁率いる自民党の政策は、原発維持や対中強硬姿勢、さらに脱デフレへ向けた大胆な金融緩和など、わが党と多分に「似通って」います。これは、私たちが主張してきた方向に国民世論が傾いた表れと見ることができます。

今回の結果については、党役員、候補者一人ひとりの力不足と真摯に受け止め、不退転の決意で戦ってまいります。

2013 衆院選総括と 参院選に向けて

幸福維新の志士たちよ
何度でも立ち上がろう！

このたび、大川隆法党名誉総裁が党総裁に就任しました。また、来る7月の参院選必勝を期し、矢内筆勝新党首を選出し、新体制が発足しました。国難打破に向けて、幸福実現党の戦いがやむことはありません。今後とも、党員の皆さまのご支援をよろしくお願いたします。

幸福実現党新体制

- | | |
|-------------|-------|
| 党総裁 | 大川隆法 |
| 党首 | 矢内筆勝 |
| 幹事長兼選挙対策委員長 | 江夏正敏 |
| 総務会長 | 加藤文康 |
| 政調会長兼出版局長 | 黒川白雲 |
| 女性局長 | 釈量子 |
| 広報本部長 | あえば直道 |
| 財務局長 | 大門未来 |
| 研修局長 | 松島弘典 |
| 外務局長 | 及川幸久 |
| 青年局長 | トクマ |
| 幹事長代理 | 小島一郎 |
| 総務会長代理 | 杉浦満春 |

新党首に矢内筆勝氏が就任

党首を拝命いたしました矢内筆勝です。有権者の保守回帰を受けて、自民・安倍新政権が発足したとはいえ、日本を取り巻く危機的状況が一変したわけではありません。幸福実現党といたしましては、国難打破・日本防衛の主体となるべく、引き続き実効性ある政策提言等を行うとともに、宗教政党としての強みを最大限に生かした「心の通い合う温かい政治運動」を広く展開し、国民の皆さまから理解・共感を得られる政党に雄飛したいと存じます。一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

幸福実現党 党首 矢内筆勝



PROFILE

1961年、福島県生まれ。早稲田大学社会科学部卒業。朝日新聞社に入社。91年、宗教法人幸福の科学に入局。広報局長、常務理事等を歴任。妻と1男1女の4人家族。

〈役員人事〉

幸福実現党は12月29日、以下の人事を決定しました。

総務会長代理 杉浦満春

1968年、静岡県生まれ。日本大学文理学部卒業。企業研修・コンサルティング関連企業勤務を経て、1991年、宗教法人幸福の科学に入局。局長補佐などを歴任。

なお、立木秀学（党首）、林雅敏（総務会長）は退任いたしました。

シリーズ 日本 再建 19

原子力工学の専門家としての立場から、脱原発路線に警鐘を鳴らす山名元氏を講師に招き、幸福実現党の政策部会が開催されました。先々月号に続いて後編をお届けします。

今、わが国はデフレをはじめ、超円高、少子高齢化、隣国の脅威とさまざまなリスクを抱えており、おそらく世界で一番危機に直面している国でしょう。

脱原発デモの参加者は、「原子力がなくても電気が来てるじゃないか」と声高に言っています。でも、それは1年に3兆円を払って、海外から燃料を買っているからです。それが5兆円に値上がりしたらどうするか、そもそも買えなくなるとどうするか、その議論がないことが問題なんです。

もちろん、原子力発電所で事故が起こるということも大きなリスクであり、私自身、技術者として大変反省しています。しかし、エネルギーは国の根幹です。電力の安定供給に向けてこの国がどうリスクを負っていくのか、そこを考えなくてはなりません。

脱原子力の影響

先進国はどこでも、それなりのエネルギー自給率を持っています。「いざとなれば自分たちでエネルギーを出せるぞ」と思っている国がほとんどありません。

日本は4%しかない自給率を、原子力を使うことで19%にまで高めてきました。しかし、脱原発路線により、エネルギーを全面的に海外に依存することになれば、世界の化石燃料の高騰リスクにつながります。

火力発電が増えれば、化石燃料を購入するための膨大な資金が海外に流れていくことになり、実際、足元を見

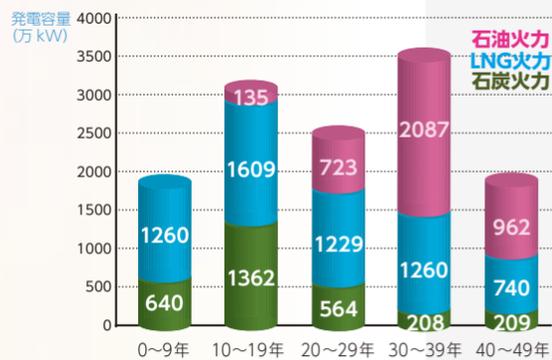
られた日本の天然ガスの買取価格は1・数倍にまで上がりました。

脱原発デモの参加者は、「原子力がなくても電気が来てるじゃないか」と声高に言っています。でも、それは1年に3兆円を払って、海外から燃料を買っているからです。それが5兆円に値上がりしたらどうするか、そもそも買えなくなるとどうするか、その議論がないことが問題なんです。

また液化天然ガスの輸入増により、今後、輸入先が中東やロシアに移る可能性があり、地政学的なリスクを背負いこむことになりそうです。

そもそも火力発電に依存しすぎるのは危険です。というのも、国内の火力発電所は造ってから30年、40年以上のもので、全体の能力の約5割を占め、相当にポンコツなんです。今、発電させないために、古い発電所を総動員していますが、数年のうちに設備を入れ替えなければ火力発電を維持できません。具体的な設備投資のイメージと、石炭火力による大気汚染の問題をペアで考えなくては、「原子力ゼロシナリオは絵に描いた餅である」ということを申し上げたい。

全国の火力発電所の経年数（一般電気事業）



2030年までに、約5000万kW程度の火力発電所が廃止される可能性を想定する必要がある。石油火力とガス火力のリプレイスは優先課題。

京都大学原子炉実験所教授 山名元氏に聞く

それでも日本は 原発を止められない ② (全2回)

～混乱のエネルギー政策議論～

原子力保有は 一種の国力

私も委員を務めました。2011年に政府が計算した電源別の発電コスト（1キロワット時当たり）を比較すると、天然ガス火力は10・7円、石炭火力9.5円、原子力8.9円と三者横並びです。しかし、燃料費のコストに占める割合は、天然ガスは約9割、石炭は6割に上りますが、原子力は1割にすぎません。

つまり、火力発電はコストの大半が海外に支払われるのですが、原子力は維持費や建設費など、国内の技術や人間にお金がかかります。こう言うと、口の悪い人は「原子力利権だ」とおっしゃるわけですが、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度だって利権ですよ。

私は技術者として、原子力を持っているエネルギーを破壊兵器として使いたくないという思いが強いです。しかし、原子力という特殊なエネルギー技術を保有していることは、やはり一つの国力にはかならないのです。

そうした原子力発電が社会に受け入れられるには、①国の中長期的な方向性の中の役割と意義、②技術的な安全性、③実施主体への信頼度、④原子力技術への安心と「4点セット」が必要です。

（やまな・はじむ）1953年、京都府生まれ。東北大学大学院工学研究科博士課程修了。旧動力炉・核燃料開発事業団（現・日本原子力研究開発機構）で、再処理開発に従事。同事業団の主任研究員を経て、96年より京大助教授、2002年より現職。著書に『間違いだらけの原子力・再処理問題』（WAC）、『それでも日本は原発を止められない』（産経新聞出版）などがある。

そのためには行政により、しっかりした情報提供が行われ、冷静な国民判断を熟成させる時間を確保しなくてはなりません。しかし、原子力に対する嫌悪の風潮が定着し、浮ついたお祭り騒ぎに走ってしまっている。実に残念なことです。

原子力を排除せず 日本再興を考える

このまま脱原発路線が進めば、わが国はエネルギーを持たないまま、世界と戦っていくことになり、場合によっては、領土を侵食されることもあり得ます。

別に私は、「皆が大嫌いな原子力」を好き好んで「やらせてください」と言っているわけではありませぬ。急激に「原子力は嫌いだからやめよう」という安易な絵を描くことは明らか間違いだというのが私の主張です。

国策があり、健全な民営活動があり、その民営活動が安全で安定的なエネルギーを供給し、食料を供給し、海外に売れる技術をつくり、お金を稼ぎ、そのお金が国内を回って安定した社会をつくっていく。このメカニズムが機能しなければ、国家の主権を守ることはできません。

国民が国家観をきちんと議論しなければ、国を誤ると思えますし、そういうことができる国になってほしいと、私は常日頃、願っています。

選挙総括から、公約実行の本気度まで――。

安倍新総理

スピリチュアル・インタビュー

復活総理の勇気と覚悟を問う

絶賛発売中! 1,470円(税込) 発行/幸福実現党

幸福の科学グループ創始者 兼 総裁
幸福実現党創業者 兼 党総裁

大川隆法 最新刊

日本の政治に、なぜ宗教が必要なのか!?

世界の紛争に終止符を打つべく、人類の進むべき道を指し示す!

政治と宗教の大統合

今こそ、「新しい国づくり」を

絶賛発売中! 1,890円(税込)